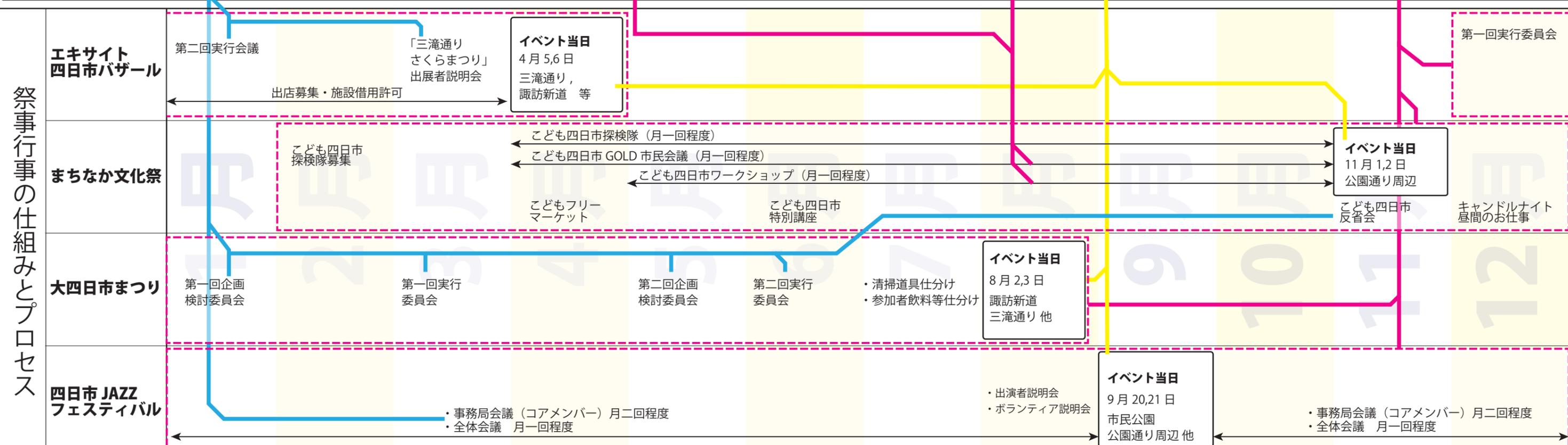
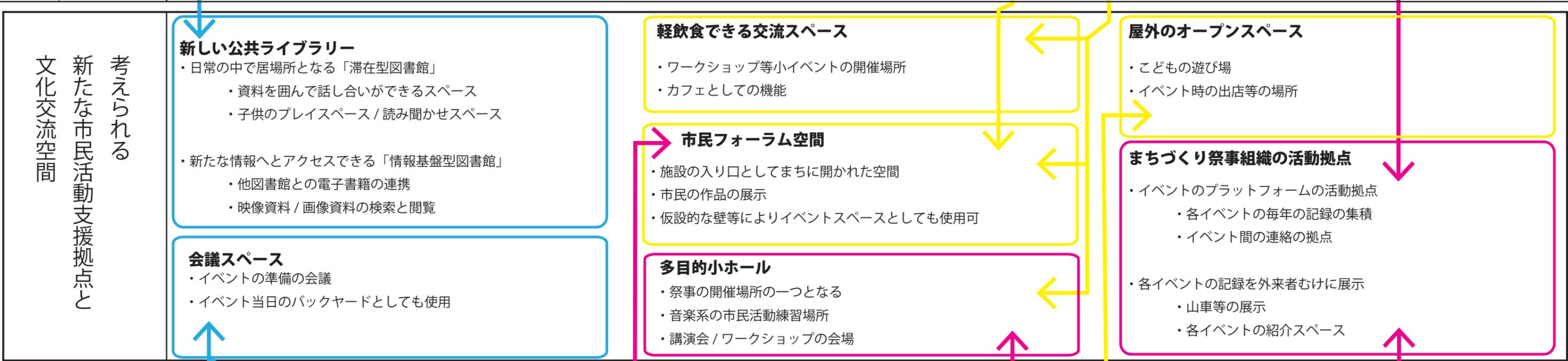
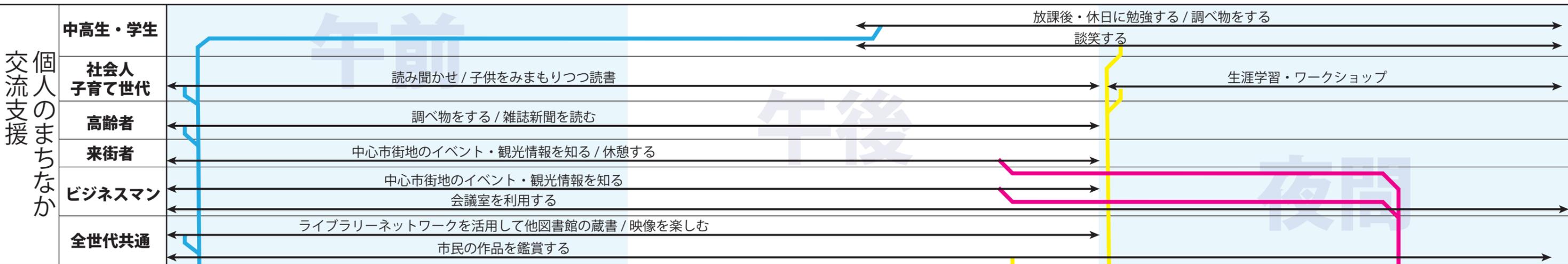


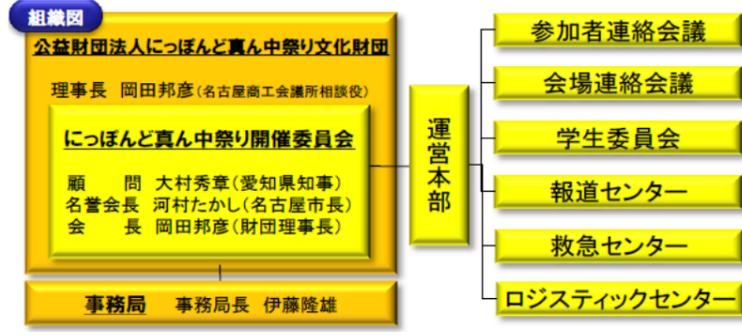
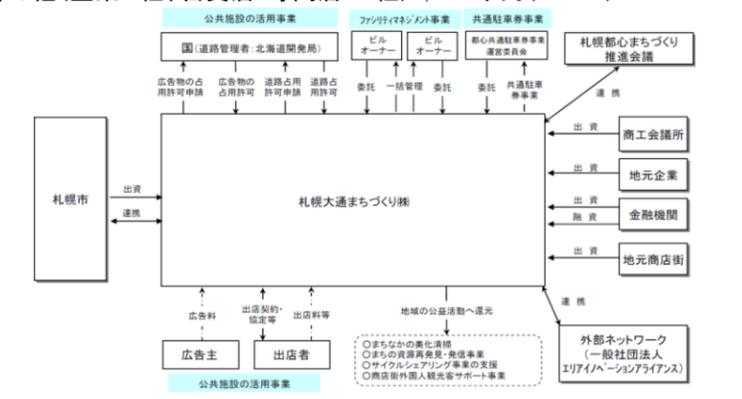
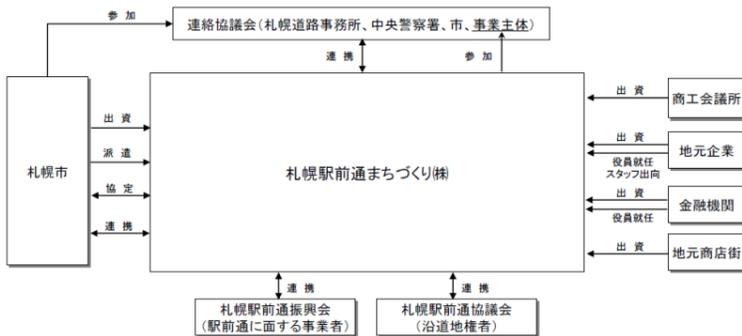
まちなか市民交流の仕組み・プロセスと空間・機能の関係図



複合施設の事業化・運営管理について（他都市事例を参考に整理）

	自治体直営＋市民参加型	公益法人運営＋市民参加型	PFI型
体制イメージ	<p>施設の各機能を自治体が運営し、館全体のイベントなど一部のソフト事業に市民ボランティアやNPOが参画、施設維持管理などハード面での日常的な業務を専門事業者へ委託する。</p>	<p>施設全体の運営を公益法人が運営。法人の専門的で長年の事業実績を活かし、各種事業を実施。市民ボランティア等を組織して各種事業を運営。</p>	<p>施設全体を複数の民間事業者で構成する特定目的会社(SPC)が運営。</p>
特徴	<p>館全体や館内の各機能を自治体の経験を活かして引き続き運営。夜間、休日など開館時間や開館日を増やすにはシフトを工夫することで対応。自治体の職員は異動で入れ替わるが、市民ボランティア等が継続的に運営に関わり市民目線で各種事業を展開する。</p> <p>【市民参画による取組み例】 ○市民による館内ツアー「メディコスアドベンチャー」と市民放送局「てにておラジオ」の定期的な開催－みんなの森ぎふメディアコスモス ○市民実行委員によるテーマ型交流カフェ等の実施「転勤族カフェ」「多文化カフェ」－千里文化センター「コラボ」 ○NPO法人が窓口業務を運営－アオーレ長岡 ○市民サポータークラブを組織して運営－岡崎市図書館交流プラザ</p> <p>▲ぎふメディアコスモス (左上) 入口横のオープンスペース「ドキドキテラス」で、数10～100人規模のイベントができる。(右下) 市民放送局「てにておラジオ」を定期的実施。その横のテーブルは中高生のたまり場</p> <p>▲千里文化センター「コラボ」の「転勤族カフェ」 テーマ型交流カフェの一つで、転勤族ならではの悩みを語り合い地域の情報を提供する。毎月開催。</p>	<p>館全体や館内の各機能を公益法人の経験を活かして運営。公益法人のスタッフの経験やノウハウを活かし、各種事業を展開。市民ボランティア等を募集、育成しながら各種事業を展開する。一部の機能(例えば図書館)を直営で運営する場合もある(参考: せんだいメディアテーク、山口情報芸術センター)。</p> <p>【財団の強みを活かした取組み例】 ○美術や映像文化の活動拠点、各種事業の映像化(アーカイブ化)－せんだいメディアテーク ○子ども達への教育普及、メディアワークショップの実践－山口情報芸術センター「YCAM」 ○中高生、大人(市民活動、生涯学習など)のたまり場－武蔵野プレイス</p> <p>▲山口情報芸術センター「YCAM」の「ケータイ・スライ・大作戦ワークショップ」子ども達が楽しみながら学ぶ「メディアワークショップの実践」。第6回キッズデザイン賞最優秀受賞。</p> <p>▲武蔵野プレイスの3階市民活動フロア 市民団体が気軽に打合せできるスペースとして場を提供されている。</p>	<p>施設の建設時から運営に至るまでの長期間で特定目的会社(SPC)に委託し、SPCに出資・参画する各事業者の強みを生かして、各機能の運営、施設の維持管理までトータルで担当。SPCを構成する事業者等の強みを活かした運営を展開。一部機能を指定管理者に委託する場合もある。(参考: ルミエール府中、市民会館は公益法人が運営)</p> <p>【SPCの強みを活かした取組み例】 ○サテライトキャンパス、シニアの健康(ヘルスアップルーム)や障害者向け運動プログラム(ウォーキングプール)、料理教室(キッチンスタジオ)、子育て支援など各種プログラムの実施－ホルトホール大分</p> <p>▲ホルトホール大分 ヘルスアップルーム(左)やウォーキングプール(右)をはじめ多様な機能を備え、SPCの構成団体の強みを活かした各種プログラムを運営している。</p>
事例	<p>【シティホールプラザ アオーレ長岡】(新潟県長岡市) 階数: 地下2階・地上4階 / 敷地面積: 14,938㎡ / 延床面積: 35,498㎡ 用途: 市役所＋アリーナ＋市民ホール＋商業施設</p> <p>【みんなの森ぎふメディアコスモス】(岐阜県岐阜市) 階数: 地下2階・地上4階 / 敷地面積: 14,938㎡ / 延床面積: 35,498㎡ 用途: 市役所＋アリーナ＋市民ホール＋商業施設</p> <p>【千里文化センター「コラボ」】(大阪府豊中市) 階数: 地上4階 / 敷地面積: 3,140㎡ / 延床面積: 9,394㎡ 用途: 市役所出張所＋老人福祉センター＋保健センター＋図書館＋公民館</p> <p>【岡崎市図書館交流プラザ りぶら】(愛知県岡崎市) 階数: 地上3階 / 敷地面積: 約25,000㎡ / 延床面積: 約18,000㎡ 用途: 中央図書館＋文化活動推進＋市民活動支援</p>	<p>【せんだいメディアテーク】(宮城県仙台市) 階数: 地下2階・地上7階 / 敷地面積: 3,948㎡ / 延床面積: 21,682㎡ 用途: 図書館＋ギャラリー・イベントスペース・ミニシアター等</p> <p>【ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス】(東京都武蔵野市) 階数: 地下3階・地上4階 / 敷地面積: 2,166㎡ / 延床面積: 9,810㎡ 用途: 図書館＋生涯学習＋市民活動＋青少年活動</p> <p>【山口情報芸術センター】(山口県山口市) 階数: 地上2階 / 敷地面積: 14,536㎡ / 延床面積: 14,808㎡ 用途: 中央図書館＋美術館(メディアアートなど)</p>	<p>【くわなメディアライヴ】(三重県桑名市) 階数: 地上5階 / 敷地面積: 3,191㎡ / 延床面積: 9,114㎡ 用途: 中央図書館、中央保健センターと勤労青少年ホーム、多目的ホール等</p> <p>【ルミエール府中】(東京都府中市) 階数: 地下1階・地上5階 / 敷地面積: 5,863㎡ / 延床面積: 14,190㎡ 用途: 図書館＋市民会館</p> <p>【ホルトホール大分】(大分県大分市) 階数: 地下1階・地上4階 / 敷地面積: 18,971㎡ / 延床面積: 36,905㎡ 用途: 市民ホール＋図書館＋大学サテライト＋総合社会福祉保健センター(高齢者、子育て、障害者、人権など)＋産業活性化プラザ</p>

持続的なまちづくりを担う推進組織に関する参考事例

	<p>地域をあげての祭りの推進 にっぽんど真ん中祭り (公益財団法人にっぽんど真ん中祭り文化財団)</p>	<p>公共空間を活用したにぎわいづくりなど 札幌大通まちづくり株式会社 札幌駅前通まちづくり株式会社</p>	<p>市民と市の役割分担による施設の運営 りぶらサポータークラブ NPOながおか未来創造ネットワーク 千里文化センター「コラボ」市民実行委員会</p>
<p>体制 イメージ</p>	<p>【公益財団法人にっぽんど真ん中祭り文化財団】</p>  <p>・公益財団法人による運営。8月の3日間のだ真ん中祭りの運営と、年間を通して普及啓発活動(参加者やボランティアスタッフの研修、各地へのPR活動等)を展開している。 ・財団内に開催委員会を設置して運営。開催委員会の主な構成 / 愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所、中部経済連合会、新聞社各社、テレビ放送局各社、ラジオ放送局各社、各会場実行委員会、学生委員会、他 ・財団自体は事業収益、会費(正会員、賛助会員)で運営。 ・3日間のだ真ん中祭りの運営にも毎年スポンサー・協賛企業を募っており、第17回は13社。</p>	<p>【札幌大通まちづくり株式会社】</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌大通において、歩道を活用した広告事業とオープンカフェ恒常化事業を実施 資本金 9,050 千円 地元企業、地元商店街などが出資者として参画 市町村300 千円(3.3%)、商工会議所300 千円(3.3%) 商店街3,500 千円(38.7%)、金融機関800 千円(8.8%) その他(企業6社、百貨店・専門店10社)4,150 千円(45.9%)  <p>【札幌駅前通まちづくり株式会社】</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌駅と大通地区を結ぶ駅前通りにおいて、地下歩行空間、北三条広場「赤ぶら」等の指定管理(イベント活用等)、広告事業を実施 資本金 9,900 千円 地元企業、地元商店街などが出資者として参画 札幌市(3%)、札幌商工会議所(3%) 札幌駅前振興会(44%)、駅前通沿道企業11社・駅前通隣接企業4社 	<p>【岡崎市図書館交流プラザ、アオーレ長岡における市と市民協働】</p> <p>施設全体の運営</p> <p>「りぶらサポータークラブ」</p> <ul style="list-style-type: none"> 当初は市内の中間支援「NPO岡崎まち育てセンター・りた」がとりまとめ。今はNPOが手を引き、クラブが独立。 市と市民が対等の関係 りぶらまつりの企画運営(年1回) 生涯学習「りぶら講座」の企画運営 シネマ・ドリぶら(図書館と協働で企画運営) 図書館サポート(書棚整理、本の清掃など) 外国人のど自慢大会 など。 <p>施設全体の運営 長岡市</p> <p>「NPOながおか未来創造ネットワーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> 当初は任意団体、2014年にNPO法人化、行政の下支的な役割。指定管理者ではない。 市民利用スペースの運営(貸館受付、視察者・見学者対応、情報発信)、イベントの企画立案等、中心市街地整備推進機構の業務 など。 <p>【千里文化センター「コラボ」の運営】</p> <p>施設全体は市民協働部にある千里文化センターが運営。運営状況を各施設長等による市民運営会議が評価。運営会議とは別に、市民実行委員会を毎年公募し、施設内の一部の運営を委託している。</p> <p>施設全体の運営</p> <p>市民運営会議—毎年度の運営状況を評価 市役所出張所、老人福祉センター、保健センター、図書館、公民館、千里文化センターの各施設長や地域団体の代表、学識者等で構成。</p> <p>市民実行委員会—日々の運営の担い手 公募市民(毎年実施)。屋上庭園と多目的スペースの運営について、市民実行委員会と市が毎年協定を結んで市民実行委員に委託。 テーマ型交流カフェ等の実施「転動族カフェ」「多文化カフェ」などを定期的実施。</p>
	<p>特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2015年に17年目を数えた参加型スタイルの祭りで、第1回26チーム(1,500人)の参加でスタート、今は国内外から200チーム(約23,000人)が参加し全国有数の観客動員数(2015年180.5万人)を誇り愛知県内の様々な街(2015年21カ所)で開催される。 名古屋の大学生たちの活動から始まり、任意団体で運営していた。回を重ねるごとに名古屋市や県内各地で開催されるなど大規模な祭りとなり、2007年3月に財団法人を設立。2012年4月より公益財団法人。 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市と連携を密にし、道路空間の占有許可、地下歩行空間屋広場の運営を実施している。広告事業で得られた広告料、オープンカフェやイベント等で得られた収入で運営費を賄い、地域の公益活動に還元している。 【公益活動の例】 まちなかの美化清掃 街の資源再発見・発信事業 サイクルシェアリング事業の支援 商店街外国人観光客サポート事業 人材育成 など

中心市街地内のイベント(大四日市まつりおよび四日市JAZZフェスティバル)市民の参加状況

1. 大四日市まつり

	H25	H26	H27
日程	8月3日(土)、4日(日)	8月2日(土)、3日(日)	8月1日(土)、(日)
来場者数	199,900人 3日/77,400人、4日/122,500人	210,600人 2日/75,600人、3日/135,000人	226,000人 1日/81,000人、2日/145,000人
協賛企業/金額	213企業/6,988,000千円	212企業/7,148,000円	217企業/7,114,800円
参加者数・団体数			
【3日】			
パレード	312人(13団体)	272人(12団体)	328人(14団体)
市民盆おどり	500(12団体)	500(12団体)	500(12団体)
民踊と獅子舞	357人(10団体)	290人(8団体)	301人(9団体)
市民総おどり	153人(3団体)	133人(2団体)	130人(2団体)
リトルおどりフェスタ	1,286人(10団体)	1,159人(9団体)	1,043人(9団体)
おどりフェスタ	1,066人(31団体)	1,060人(29団体)	1,016人(29団体)
【4日】			
郷土の文化財	580(12団体)	310人(10団体)	360人(10団体)
運営ボランティア	41	59	16
清掃ボランティア	740人	640人	670人

2. 四日市JAZZフェスティバル

	H24	H25	H26
日程	10月28日(日)	9月22日(日)	9月13日(土)・14日(日)
会場数	14会場	17会場	17会場
天候	雨天	晴天	晴天
前夜祭	第2ホール609人満席	—	—
ゲスト出演者	10組	15組	15組
一般公募出演者	70組/543人	76組/562人	85組/620人
観客動員	6,000人	13,000人	20,000人
実行委員会	26人	24人	24人
ボランティア	47人	50人	50人

(5) 中心市街地エリア内の主な定例イベントの開催状況について (H26 年度実績)

開催月	件名	観客動員数等
4月	エキサイト四日市バザール (5日、6日) 三滝通り、諏訪新道を会場に、飲食・物販・展示などの出店がある。	69,000人
7月	四日市まちなかバル (2日・5日) 中心市街地内の飲食店を活かしたイベント	1,519人
8月	大四日市まつり (2日、3日) 市内中心部を会場として、土曜日は、おどりフェスタをはじめとした市民参加型事業、日曜日は、練りや山車といった郷土の文化財をテーマとした催しを開催	210,600人
9月	スワビ・アミューズ (3日・4日) すわ公園を会場にコミュニティ・ビアガーデンを開催	2,000人
	四日市 JAZZ フェスティバル (20日、21日) 「街は劇場、通りは舞台 主役はあなた」をテーマに、中心市街地内の駅、公園、街角などでコンサートを開催 参加 100グループ	20,000人
10月	秋の文化財行列 (4・5日) 諏訪神社の例大祭に併せて、商店街でイベントを開催する	40,000人
11月	まちなか文化祭 (1日・2日) 市民の音楽発表や展示、こどもたちの職業体験イベント「こども四日市」を同時開催	5,000人
	四日市よさこい祭り「やったろ舞」(29日・30日) 近鉄四日市駅周辺商業地域の賑わいの創出と活性化を図ることを目的に市民参加型の「よさこい踊り」を開催 参加 74チーム・2,300人	9,000人
	近鉄四日市駅周辺イルミネーション (11月～2月) 近鉄四日市駅南口、中央通り、すわ公園など冬のまちなかをイルミネーションが彩ります	一人
12月	1000000人のキャンドルナイト(21日・22日) すわ公園を会場に、約400個のキャンドルが幻想的に公園を照らす。	1,000人

●その他のイベント

- ・フリーマーケット・イン・シティーパーク (毎月第1日曜日開催/市民公園)
- ・四日市の市 (毎月4日開催/JR 四日市駅前広場)

イベントの開催状況

エキサイト四日市バザール



大四日市まつり



四日市 JAZZ フェスティバル



秋の文化財行列



まちなか文化祭



イルミネーション

